



3月に入り、気温が高い日が続いていることから、園地内の消雪はかなり進んできています。
 気象庁発表の1ヶ月予報(3/13発表)では、3月下旬から平年に比べ気温が高い予報となっています。
 今後、りんごの生態は平年よりやや早まることが予想されますので、剪定作業を計画的に進めるとともに、春作業の準備を計画的に行いましょう。

1. ふじの生態

3月に入り気温の高い日が続き、生態は平年より早まるものと予想されます。今後の天候によっては、さらに早まる可能性があり、昨年とは違い、平場と山手の生態の差が大きいことが予想されます。

	ふじの発芽	ふじの開花	桜の開花	マンサク開花
本年	4/1 (ふじの開花予想から1ヶ月前)	5/1 (桜の開花予想から15日後)	4/16 (予想)	3/10
平年	4/9	5/8	4/22	3/12

品種間の生態の差(ふじ基準)

王林は2日早い	ジョナは1日早い	つがるはふじと同等
---------	----------	-----------

2. 薬剤散布

ナシマルカイガラムシを対象とした特別散布は、4月上旬頃が適期と予想されますので、枝の片付け作業と、SSの走路確保に努めてください。また、園地の状態が悪いことが予想されるため、SSの事故には十分気をつけましょう!

薬剤名	対象害虫	倍数	散布量/10a	散布時期	1,000の薬量
精製マシン油(乳)	カイガラムシ類 ハダニ類 ハダニ類の越冬卵	50倍	250	発芽前	1缶(20)
	ハダニ類	100倍		芽出直前直後	
				展葉期(展葉2週間まで)	1/2缶(10)

発芽前にマシン油50倍を散布した方は、展葉1週間後頃(基準散布1回目)ではマシン油の散布は必要ありません。薬剤散布について疑問点などございましたら、営農係までお問合せください。

3. 野ねずみ対策

- (1) 被害を受けた樹ではバッチレート塗布するかシーバルテープをまいて処置しましょう(被害の回復)。被害がひどいものは植替えを検討しましょう。
- (2) 野ねずみの穴を見つけたら、殺鼠剤(下記参照)を投入しましょう。(野鼠密度低下)

殺鼠剤一覧

商品名	規格・価格	特徴
ラッドシードF	バラ 1kg 2,739円 小袋 500g 2,420円	クマリン系の殺そ剤で原料にヒマワリの種を使用。下記の2剤と有効成分が違います。
Z・P 1%	バラ 1kg 1,177円 小袋 500g 1,056円	ねずみ穴に直接入れます。土手や雑草が茂っているところに重点的にを行います。
メリーネコ1号	バラ 1kg 1,298円 小袋 500g 1,210円	毒餌をネズミの好む食品を内側と外側からコ ティングしたものです。

4. 消雪後の管理

- (1) 基肥は消雪後できるだけ早く行うようにしましょう。
- (2) 石灰質肥料は基肥の施肥後、降雨があった場合2~3日後、降雨がなかった場合は2週間後に行いましょう。
- (3) 剪定作業が最盛期を迎えておりますが、薬剤散布ができるように、枝を片付けと走路の確保を平行して行いましょう。

桃の縮葉病対策

- (1) 縮葉病の病原菌は枝や芽の表面で越冬するため、芽が動くとともに新葉に感染します。
- (2) 昨年発生が見られた園地では、発芽前(4月上旬頃)にチオソック500倍または石灰硫黄合剤7倍で対策しましょう。
- (3) 昨年、縮葉病が多発した園地で4月上旬から散布が可能な方は、4月10日頃までに、5日間隔で2回散布しましょう。